



414  
A 708



日本償金

小林儀秀譯

天正十一年四月  
限侯爵奇贈

方今華盛頓府國務局ニ於テ監守スル所ノ日本  
償金ト称スル財本ニ就キ余恭ク二三ノ書類ヲ  
送呈ス  
抑モ彼財本ハ去ル一千八百六十三年及ヒ六十  
四年間日本帝國不良ノ臣民下ノ関海峡ヲ阻阨  
セシ妨碍ニ因テ生スル所ノ損害及ヒ費用ノ償  
金ニシテ當時日本國內紛紜ノ際彼政府ニ要求  
セシ所ナリ然レトモ下ノ関ノ事ハ固ヨリ該政  
府ニ於テ毫モ聲援ヲ為シ、ニ非ラス且、深ク其





妄動ノ罪ヲ謝セリ而シテ其損害及ヒ不便ヲ生  
セシ事亦甚著明ナラス然ルニ英佛荷及ヒ合衆  
國政府三百萬弗ノ償金ヲ要求シ日本政府既ニ  
之ヲ交付セリ而シテ合衆國收入セシ金額ハ七  
十五萬弗ナレド此回ノ損害及ヒ費用ヲ補ヒシ  
其實僅ニ五萬弗ニ過キス餘剩ノ金貨ハ以テ合  
衆國ノ證券ヲ購求シタリ方今其利支増積シテ  
總計百二十五萬弗以上ニ及ヘリ

議事院<sup>コングレス</sup>ニ於テハ今日ニ至ル迄此財本ヲ如何カ  
處置スヘキ乎ヲ議セス今尙<sup>ホ</sup>國務局之ヲ監守ス

而シテ此償金ノ過當ナルト之ヲ要求セシ情實  
トニ就テ物議ヲ生セリ爾後日本自由進歩殿々  
ノ景况ヲ見ルヲ以テ益々議論紛々遂ニ議事院  
ヲシテ此償金ヲ我國ノ用ニ供セサレムルニ  
至レリ既ニ千八百七十二年日本未タ償金ノ半  
額ヲ交付セサル時ニ當テ下院ニ於テ一議案ヲ  
起シ日本政府ヲメ此殘額交付ノ義務ヲ免レシ  
ムルノ權ヲ大統領ニ附與セント一旦衆議一決  
セシカトモ其議案上院ニ達セサルヲ以テ遂ニ  
法令トナラサリシナリ猶又下院及ヒ新聞紙ノ



議論其他議事院ニ呈スル書等ノ意趣ニ依ルニ  
人民一般ニ過額ノ本支ヲ以テ日本ニ還付セシ  
ト欲スルノ意ヲ表セリ今我人民ノ公義寛容ノ  
意趣ヲ以テ考ルニ日本政府匱乏ノ財貨ヲ分テ  
其人民教育進歩ノ切要ナル資用トナセル者ノ  
幾分ヲ収却シテ以テ我金庫ヲ富スハ太々欲セ  
サル乎ナリ往年水師提督ペルリ條約ヲ結テ日  
本ノ諸港ヲ開キシヨリ以來日本文明進歩ノ速  
ナルヲ諸國歴史ニ於テ未曾テ其比ヲ見ス且日  
本ノ安寧ハ余輩ノ常ニ深ク感感スル乎ニシテ

實カヲ以テ之ヲ扶助セント欲スルナリ然ルニ  
今一ノ違失ニ衆ニテ該國人民進歩資用ノ幾分  
ヲ収却スルハ我恒ニ宣言セル善意ニ非サルニ  
似タリ

余日本帝國ニ在ルヲ始ト三年日本人ノ為ニ學  
制ヲ設立スルノ事業ヲ分掌ス因テ其人民ノ進  
歩ヲ欲スルニ熱心ナルヲ保證スルヲ得タリ  
是故ニ此財本ヲ還付スルキハ盡ク之ヲ教育ノ  
資用ニ供給センヲ確信スルナリ然レハ我國  
ニ於テ此公義ヲ施スハ日本ノ安寧長久ヲ助ル



偉功ト謂ハサルヲ得ンヤ兩國ノ地勢ヲ以テ之  
ヲ考ルニ日本ニ於テ百工ノ盛大ニ赴クハ合衆  
國ノ商業ニ於テ最モ感及スル乎ナリ故ニ曾道  
徳上ニ於テ之ヲ獎勵スルノミナラス此際實力  
ヲ以テ日本永久ノ進歩ヲ扶ルハ政治上ニ於テ  
亦策ノ得タル者ト謂フヘシ  
余希クハ貴下等此事ヲ熟慮シ又力ヲ盡シテ此  
財本及ヒ利支ヲ併セテ之ヲ還付シ以テ益兩國  
ノ利益ヲ成サンコトヲ又議事院ニ於テモ速ニ此  
ニ注意シ印行其他公私ノ方法ヲ以テ人民一般

ノ感動ヲ起サンコトヲ希望スルナリ  
此他尚申報ヲ要スル中ハ余喜テ之ヲ備フベシ  
且此回ノ目的ヲ達センカ為ニ貴下等ノ意見ア  
ラハ幸ニ之ヲ教ヘヨ若シ通信ヲ要スルコトアラ  
ハ當地或ハ在費府日本博覽會事務局ニ充テ送  
致セラレンコトヲ乞フ

ニユージェルシー  
ニユーブランスクウ井ツク

千八百七十五年十二月十日

ダウ井ットモルレー拜



Vertical columns of handwritten text in a traditional Chinese style, enclosed in a red border. The text is arranged in approximately 12 columns, reading from right to left. The characters are small and densely packed, typical of classical Chinese manuscripts. The paper shows signs of age, including foxing and some staining, particularly on the left side.